



平成 28 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 アプリックス I P ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 兼 取締役社長 郡 山 龍
(コード：3727、東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 長 橋 賢 吾
(TEL. 050-3786-1715)

給餌機や給水機、自動トイレ等、ペット用品での当社の IoT ソリューションの採用が拡大 ～ 「CES 2016」での内覧を始め、メーカー各社が小売店や流通向けに今年の製品として発表 ～

当社は、昨夏に発表した大手ペット用品メーカーに加え、当該メーカーと双璧を成すペット用自動トイレの大手メーカーが、当社の技術を採用した Internet of Things (以下「IoT」) 対応のペット用自動トイレを小売店や流通向けに新製品として発表し、CEA (全米家電協会) が主催する世界最大規模の家電機器の展示会「CES 2016」にて内覧を開始したことをお知らせいたします。

今回の発表により、ペット用自動トイレの 2 大メーカーに当社の IoT 技術が採用され、当社の IoT 技術の優位性をペット用品メーカー各社に知らしめるとともに、ペット用品における IoT への対応が本格化してきていることを小売店や流通が認識し、当社の IoT 技術を搭載した各種製品が今年の主力商品として位置付けられようとしています。

米国の市場調査会社※によると、2015 年の北米のペット用品小売店の売上総額は 175 億ドルに達し、インターネット通販などによるペットフードやペット用品のサプライのオンライン販売総額はそのうちの 20% を超える 36 億ドルとなり今後 6% 以上伸びていくと予想されていますが、E コマースでは従来の検索型広告やバナー広告では効果的にユーザーに製品やサービスを訴求することが難しくなっており、ユーザーへのリーチが課題となっています。

しかし、当社が提供する IoT ソリューションを採用することにより、飼い主にペットの状態を知らせた時に、状況に応じてタイムリーに適切なペット用品やペット向けの保険や医療等のサービスを提案することが可能となり、当社の IoT 技術を搭載した製品が今後のペット用品向け E コマースの基幹的なプラットフォームとなります。また、今年発売される予定のペット用の給餌機や給水機への採用も決まり小売店や流通への案内も始まっており、当社の IoT 技術が複数のメーカーでの採用やペットトイレ以外の製品にも広がっているため、ペットの健康管理やペット用品の E コマースのプラットフォームとしての地位を固めつつあります。

当社では、通信モジュールなどの IoT 技術の提供による収益だけでなく、IoT を活用したネット通販やインターネット経由で提供される各種サービスを実現するプラットフォームを提供し、購入される製品からのアフィリエイト収入や広告収入を利益率の高い収入源として事業の拡大に努めてまいります。

※IBISWorld Inc. が 2015 年 9 月に発表した「Online Pet Food & Pet Supply Sales in the US」および 2015 年 12 月に発表した「Pet Stores in the US」に基づく。

以 上